

島原半島ジオパークリーフレット：島原半島の成り立ち

地質学の愛好家にとっては、島原半島は 400 万年以上の火山の歴史を有する屋外博物館である。このルートでは、自然災害がこの地域の文化や歴史をどのように形成してきたかを、特に南海岸で調べることができる。

早崎海岸

海岸沿いを楽しく散策しながらこの半島最古の岩々に対面することができる。ここで見られる黒っぽい玄武岩は 430 万年以上前に水中火山によって作られた。

棚畑展望台

この地域の段々畑のすばらしい景色を楽しめる展望地点。棚畑は日本有数のジャガイモの生産地のひとつである。この地域の豊かな火山性土壌は、大地から掘り出された火成岩でできた壁で囲まれ、段々畑に囲まれている。

原城跡

1638 年の島原の乱の最後の戦闘の場所である。この城は 9 万年以上前の阿蘇山 (1,592 メートル) の大規模噴火によってできた丘の上に築かれた。灰と岩屑が 150 キロメートルも離れたこの地にまで到達したのである。

龍石海岸

海岸沿いの小山の側面は、島原半島の 50 万年の地質の歴史をむき出しにしている。各地層は海拔の変化や火山爆発の種類、そして構造断層の動きを物語る。